

# モニタリング結果報告書 (令和4年度)

## 1. 施設概要

施設名	神奈川近代文学館		
所在地	横浜市中区山手町110		
サイトURL	<a href="https://www.kanabun.or.jp/">https://www.kanabun.or.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立神奈川近代文学館条例		
設置目的(設置時期)	近代文学に係る図書及びその著者の遺品等を収集し、整理保存し、及び展示し、並びに近代文学に係る図書を閲覧に供するとともに、併せて県民に文化活動の場を提供するため。 (昭和59年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川文学振興会		
指定期間	R 3. 4. 1 ~ R 8. 3. 31 (2021年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	文化課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>令和4年度は、例年企画展を実施する初夏に「生誕100年 ドナルド・キーン展ー日本文化へのひとすじの道」を特別展として実施し、春の「生誕110年 吉田健一展 文學の楽しみ」、秋の「没後50年 川端康成展 虹をつむぐ人」と合わせ計3回の特別展を行った。冬季には荷物用エレベータ1機の更新工事のため展示室休室を予定していたが、資材供給状況により工事が延期となったため、常設展を2回開催した。</p> <p>「ドナルド・キーン展」及び夏の企画展「堀内誠一展」の好調により、年間展示入館者数は41,572人となり、3年ぶりに4万人台に回復した。</p> <p>電気料金の高騰による光熱水費の増と空調設備等の修繕費の増など、維持費の大幅増があったが、観覧料収入の好調による増収分をあて、収支比率100%となった。利用者満足度も高く、3項目評価はS評価となった。</p> <p>今後も多様な分野の展示や集客力のあるイベントを実施し、近代文学及び近代文学館への興味を喚起できる取組の充実を期待する。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆管理運営等の状況 「ドナルド・キーン展」、「堀内誠一展」の来館者が1万人を超え、年間の展示室入館者数は3年ぶりに4万人台に回復した。</li><li>◆利用状況 展示室・閲覧室・会議室の利用者数は展覧会観覧者数の増により57,983人となりコロナ禍を勘案した目標の48,400人を上回ることができた。目標達成率は119.8%でS評価となった</li><li>◆利用者の満足度 10月~11月の特別展「川端康成展」(入場者数7,327人)の実施時期に来館者とホームページ閲覧者を対象に満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が97.9%となったため、S評価となった。</li><li>◆収支状況 電気料金の高騰による光熱水費の増と空調設備等の修繕費の増など、維持費の大幅増があったが、観覧料収入の好調による増収分をあて、収支比率100%、A評価となった。</li><li>◆苦情・要望等 来館者から寄せられた要望等については、近代文学館で適切に対応した。</li><li>◆事故・不祥事等 経年劣化による設備の不具合が各所で続いている旨、近代文学館から報告を受けている。</li><li>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</li><li>◆その他 令和4年度の3項目評価についてはS評価とした。</li></ul>

### 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	S	S	A	

### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現地調査等の 実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時 (月1～2回程度)	工事予定箇所及び工事実施状況の確認等を行った。
意見交換等の 実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	月1回程度	施設の利用状況や懸案事項等について協議した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

## 5. 管理運営等の状況

### [ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。（集客を目指す展示、独創性のある展示、他機関との連携など、事業の広がりを意識した展示など）</p>	<p>4～5月 特別展「生誕110年 吉田健一展 文學の楽しみ」 入場者数5,202人</p> <p>5～7月 特別展「生誕100年 ドナルド・キーン展－日本文化へのひとすじの道」 入場者数10,851人</p> <p>7～9月 企画展「堀内誠一 絵の世界」 入場者数11,500人</p> <p>10～11月 特別展「没後50年 川端康成展 虹をつむぐ人」 入場者数7,327人</p> <p>12～1月 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第1部－夏目漱石から萩原朔太郎まで コーナー展示：夏目漱石特別コレクションから一漱石あて絵はがきを中心に－ 入場者数1,723人</p> <p>2～3月 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第2部－芥川龍之介から中島敦まで コーナー展示：夏目漱石特別コレクションから一漱石あて絵はがきを中心に－ 入場者数4,969人</p>	<p>・例年企画展を実施する初夏に「生誕100年 ドナルド・キーン展－日本文化へのひとすじの道」を特別展として実施し、1万人を超える観覧者があった。</p> <p>・秋の特別展「没後50年 川端康成展 虹をつむぐ人」ではオンラインゲームとタイアップイベントを企画。展示室にWi-Fiを設置してワークシートをweb上でも提供した。ワークシートにより、若年層の参加者により深く展示内容に興味を持っていたことができた。</p> <p>・冬季は展示館荷物用エレベーターの更新工事のため休館を予定していたが、工事が延期となったことから、予定を変更し常設展を2回開催した。「文学の森へ 神奈川と作家たち 第2部－芥川龍之介から中島敦まで」ではコミックスとコラボレーションを実施。若年層を中心に冬季としては多くの観覧者があった。</p>
<p>・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会を積極的に開催する。</p>	<p>特別展「生誕110年 吉田健一展 文學の楽しみ」では、2016年にご遺族から一括して寄贈を受けた吉田健一文庫の資料を活用し、作家の生涯と作品を顕彰し、好評を得ることができた。</p> <p>・冬季の常設展では、夏目漱石特別コレクションから漱石あて絵はがきを中心に紹介するコーナー展示を併設し、収蔵資料の公開につとめた。</p>	<p>・展覧会についての報道を通じて近代文学館の資料収集成果をPRすることができた。</p>

<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会など開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>4～5月  ※&lt;&gt;内に定員を減らして実施  吉田健一展記念講演会  3回&lt;70%&gt;  同展ギャラリートーク 7回&lt;70%&gt;  (講談会 1回&lt;70%&gt;)  (「吉田展」記念上映会  2回&lt;70%&gt;)  (高校生向け事業  オンライン開催1回)</p> <p>5～7月  ドナルド・キーン展記念講演会  2回&lt;90%&gt;  同展対談 1回&lt;90%&gt;  同展ギャラリートーク 3回&lt;90%&gt;  (高校生向け事業1回&lt;90%&gt;)</p> <p>7～9月  堀内誠一展記念講演会  2回&lt;95%&gt;  同展ギャラリートーク 3回&lt;95%&gt;  (かなぶんキッズクラブ&lt;映画会、  紙芝居、絵本の読み聞かせほか  &gt; 4回&lt;95%&gt;)  (DVD上映会 1回&lt;95%&gt;)  (朗読コンサート 1回&lt;95%&gt;)  (高校生向け事業  オンライン開催1回)</p> <p>10～11月  川端康成展記念講演会  3回&lt;95%&gt;  同展朗読会 1回&lt;95%&gt;  同展ギャラリートーク 8回&lt;95%&gt;  (「文字・活字文化の日」記念  行事  &lt;ギャラリートーク&gt; 1回&lt;95%&gt;)  (高校生向け事業1回&lt;95%&gt;)  (かなぶん連句会1回&lt;95%&gt;)  「デジタル文学館」への追加  荻野アンナ講演「川端康成の小説  万華鏡」(ゲスト)</p> <p>12～1月  (私の本について話そう  1回&lt;95%&gt;)</p> <p>2～3月  (講演とシンポジウム  1回&lt;95%&gt;)  (朗読会(共催) 1回&lt;95%&gt;)  (学会(共催) 1回&lt;95%&gt;)  (講談会 1回&lt;95%&gt;)  (上映会とトーク1回&lt;95%&gt;)  (かなぶんキッズクラブ&lt;映画会、  紙芝居&gt; 2回&lt;95%&gt;)  「デジタル文学館」への追加  藤沢周朗読とトーク「『連作小説  館』と『世阿弥最後の花』」(ゲ  スト)</p>	<p>・展覧会に連携した講演会、文字活字文化振興を目的とした講談会等の多彩なイベントを実施した。  ・開催時の感染対策として、&lt;&gt;内の割合に定員を絞って実施した。  ・前年度の休館期間から開始したオンライン事業では、動画視聴数を伸ばすことができた。</p>
------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>・専門図書館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。</p> <p>〔参考〕レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、情報提供、調査のレポートを行うサービス。利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。</p>	<p>レファレンス件数 145件</p>	<p>・利用者からの様々な問合せに対応し、専門的施設としての役割を果たした。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	--------------------------------------------

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>開催中の文学展と連携した読書コーナーを閲覧室内に設け、来館者の展示観覧後の読書意欲を満たす環境を提供することで収蔵資料の利用を促進する。</p>	<p>4～5月 特集・吉田健一 利用者数815人 5～7月 特集・ドナルド・キーン 利用者数1,031人 7～9月 特集・堀内誠一 利用者数1,677人 10～11月 特集・川端康成 利用者数983人 12～1月 特集・萩原朔太郎 利用者数599人 2～3月 特集・小林秀雄 利用者数582人</p>
<p>「神奈川近代文学館友の会」の会員を募り、文学館事業への参加を促す。</p>	<p>会員数1,033名 友の会会員の集い 1回 友の会講座(会員以外も参加可) 1回 文学散歩 8回</p>
<p>文学振興に理解ある法人や個人から資金面で財団事業を支援していただくため「神奈川近代文学館を支援(サポート)する会」会員を募り、広報宣伝活動にも協力いただく。</p>	<p>会員数101名(120口) 機関紙「神奈川近代文学館」の配布、展覧会への招待を行い、「支援する会」会員の企業及び団体からはポスターの掲出、チラシの配布、学校動員など各展覧会について広報宣伝活動の支援を受けた。</p>
<p>研究者や専門家の立場から学術面等で協力を得るための支援組織「神奈川近代文学館懇話会」により人的ネットワークによる事業支援をいただく。</p>	<p>会員数76名 機関紙「神奈川近代文学館」等の配布を通じて最新の事業内容を報告、会員からは総会の場で事業運営等について意見や提言をいただいた。 12月に第13回総会を開催 参加人数8人</p>

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	14,066	29,787	57,983
対前年度比		211.8%	194.7%
目標値	67,000	48,300	48,400
目標達成率	21.0%	61.7%	119.8%

目標値の設定根拠： 経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 観覧券の枚数、受付係員がカウント(展示観覧者数)＋閲覧カウンター職員がカウント(閲覧室利用者数)＋利用申請者が予約システムに入力した人数(会議室利用者数)

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

### <備考>

令和2年度第3回第三セクター等改革推進部会（令和3年3月29日開催）における経営改善目標の策定の中で、提案時の目標値を一部変更し、今後5年間（令和3年度～令和7年度）の目標値を設定した。

### 【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】 （※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
利用者数は全体で見ると、展覧会観覧者数の増により57,983人となり新型コロナウイルス感染症を勘案した目標の48,400人を上回ることができた。しかし、会議室の利用者は感染症の影響を受ける前の2018年の46.8%に留まった。

②令和4年度の対応状況  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入口に消毒液、サーモグラフィーを設置、受付等にアクリルパーティションを設置し、物品の消毒、換気等、ガイドラインに沿った対策を行った。貸し会議室についても使用後の消毒、換気等感染対策を徹底するとともに、利用者にも時期に応じた定員設定や感染対策を呼びかけた。講演会等イベントは定員を吉田健一展会期中（4月2日～5月22日）は定員の70%、ドナルド・キーン展会期中（5月28日～7月24日）は定員の90%、堀内誠一展以降（7月30日～）は講師の前の列をあける形の定員の95%で実施した。

## 7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
		(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート  (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート R4年度は以下の方法で実施した。 ①来館者アンケート 展示室出口に常時用紙を設置し、行うほか、受付でwebアンケートのリンクを配布し実施した。 ②未来館者アンケート 来館していない方を対象にwebアンケートを実施した。実施にあたってはTwitterやHPで告知した。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 来館者：11. 以下の項目について、どのようにお感じになりましたか。>④全体評価  
 Web：8. 利用なさっての全体評価をお願いします。

実施した調査の配布方法 受付等に配架、HP 掲載 回収数/配布数 594 / =

配布(サンプル)対象 来館者、HP利用者 ※項目未回答者あり

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	342	180	11	0	533	
回答率	64.1%	33.8%	2.1%	0.0%		
前年度の回答数	104	55	2	0	161	
前年度回答率	64.6%	34.2%	1.2%			
回答率の対前年度比	99%	99%	166%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

**【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】**  
(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響  
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照



8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	407,171	9,259	49,433	受取利息収入 15 事業収入 6,729 立替金収入 157 雑収入 538 退職給付引当預金 取崩収入 41,994	465,863	465,863	0	
	決算	412,860	2,919	2,017	受取利息収入 10 事業収入 1,598 立替金収入 72 雑収入 317 寄付金収入 20	417,796	417,794	2	100.00%
前年度	当初予算	410,043	8,059	45,428	受取利息収入 15 事業収入 5,530 立替金収入 157 雑収入 252 退職給付引当預金 取崩収入 39,474	463,530	463,530	0	
	決算	410,043	7,654	44,300	受取利息収入 2 事業収入 4,327 立替金収入 116 雑収入 168 寄附金収入 5 補助金収入 208 退職給付引当預金 取崩収入 39,474	461,997	461,992	5	100.00%
令和4年度	当初予算	410,043	8,259	6,054	受取利息収入 15 事業収入 5,830 雑収入 209	424,356	424,356	0	
	決算	410,043	14,674	39,894	受取利息収入 2 事業収入 6,351 雑収入 188 寄附金収入1,100 補助金収入 109 退職給付引当預金 取崩収入 32,144	464,611	464,610	1	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響

展覧会の好調により、利用料金収入、事業収入とも予算額を上回ることができた。また、昨年に引き続き文化庁の補助金を活用した。支出では、電気料金高騰による光熱水費増や空調設備等の修繕費増により維持費の大幅な増があった。

②令和4年度の対応状況

電気料金の高騰による光熱水費の増と空調設備等の修繕費増など、維持費の大幅な増があったが、観覧料収入等の好調による増収分をあてた。

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	6 件	自動販売機の設置希望	令和5年度から自販機を設置することとなった。
	アンケート	1 件	入口の検温器の警告音がうるさい。	警告音の音量を下げた。
職員対応	アンケート	3 件	グループで来ている来場者のおしゃべりがうるさいので注意してほしい。	職員による巡回を増やした。
事業内容	アンケート	1 件	講演会は日曜日にしてほしい。	土曜日のイベントが多くなる傾向にあるが、曜日を限らず、日程の調整をしている。
その他		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。